

平成 28 年 4 月 14 日  
国土技術政策総合研究所

**NEAL-NET の世界展開に向け橋頭堡を確保 (IMO/FAL40 で報告)**  
**～日中韓に加えて世界各国の港湾物流情報共有のための国際標準化を推進～**

英国ロンドンで 4 月 4 日から 8 日まで開催された国際海事機関 (IMO) 第 40 回簡素化委員会 (FAL40)<sup>※1</sup>において、日中韓政府を代表して国土技術政策総合研究所飯田主任研究官より、日中韓三カ国で開発した港湾物流情報共有システム「北東アジア物流情報サービスネットワーク：NEAL-NET」の報告を世界展開のために行い、世界各国等に共有されました。

1. NEAL-NET について

- ・国土交通省では、日中韓物流大臣会合の枠組みの下、NEAL-NET (Northeast Asia Logistics Information Service Network) を推進しています。
- ・「総合物流施策大綱 (2013-2017)」(平成 25 年 6 月 25 日閣議決定)に基づく「総合物流施策推進プログラム」においても、NEAL-NET をアジア地域等へ展開を図るとされています。
- ・2014 年にはシステムの運用を開始し、コンテナ船の離着岸時刻やコンテナヤードにおける位置情報に関する共有を主要港湾間<sup>※2</sup>で行っています。
- ・2015 年には「NEAL-NET 接続のためのガイドライン」の策定を行い、企業システムから一元的・効率的な日中韓のコンテナ物流情報取得が可能になりました。

2. FAL40 での報告について

- ・FAL40 での報告として、物流情報の可視化の必要性、NEAL-NET の概要、NEAL-NET 通信標準の技術的特徴、世界各国への NEAL-NET 参画への呼びかけを行いました。
- ・報告の結果、NEAL-NET の取組が世界各国等に共有され、高い関心が示されました。



IMO/FAL40 の様子

- ※1 FAL は、海事等分野を扱う国連専門機関の IMO の一つの委員会であり、船舶の入出港に関わる手続きの簡易化、標準化、電子化等に取り組むものです。第 40 回会合は、76 ヶ国の締約国政府および 32 の関連国際機関等の代表団が参加しました。
- ※2 日本：東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港 韓国：釜山港、仁川港、光陽港  
中国：寧波港、青島港など 11 港

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所管理調整部国際業務研究室 飯田

代表：046-844-5018 FAX：046-842-9265